



「予知能力を最大限に
発揮させる占い」補足版



ダビデの星と九星
不思議な力の秘密

ヘンリー湯川

これまでの易との違い

2011年10月16日「予知能力を最大限に発揮させる占い」を電子出版しました。

<http://p.booklog.jp/book/34962> クリックしてみてください。

第三章「六十四種類のメッセージ」とは易の六十四卦です。しかし、このメッセージはこれまでの易の六十四卦の説明とは少し違っていています。

どのように違っていているか読者の方に説明したくなって、第四章と第五章を入れた補足版を出しました。

第四章で、これまでの易との違いを説明します。
続いて第五章で、ダビデの星と九星の不思議な力の秘密を明らかにします。

第四章、これまでの易との違い

易の八卦と六十四卦は、内向型と外向型に分かれていました。

まず、易の八卦の成り立ちから説明します。

次に、易の八卦の「内向－外向」に注目して、ペアにします。

そして、易の六十四卦の「内向－外向」に注目して、
どのように傾いているのか明らかにします。

易の八卦は八人家族として表示できます。

易の八卦は八つの自然現象と八人家族にあてはめられます。

_____ 陽を表すまっすぐなラインと

____ _ 陰を表す二つに分かれたラインを

上下に三つ重ねて八卦ができます。

三つのラインによって、八卦を男性と女性に分けて、
八人家族として表示できます。

_____ 天はすべて陽から成り、男性の代表となって、父になります。

____ _ 地はすべて陰から成り、女性の代表となって、母になります

天と地が変化し、三人姉妹と三人兄弟が出てきます。

少ない方の陰陽が性を決定します。

少ない方の陰陽の位置を下から上に向けてよく見てください。

天の下、真ん中、上が陰に変化して、三人姉妹が順番に出てきます。

_____ 風は長女に _____ 火は次女に _____ 沢は三女

地の下、真ん中、上が陽に変化して、三人兄弟が順番に出てきます。

_____ 雷は長男に _____ 水は次男に _____ 山は三男

父の方から母を愛すると、女の子が生まれる？

男の子も女の子も実際は母親から生まれてきます。しかし、易の八卦では、父が変化して三人姉妹が出てきています。これは愛の関係を表します。

父の方から母を愛すると、女の子が生れやすく、
逆に母の方から父を愛すると、男の子が生れやすいのです。

すると、亭主関白の家庭は女の子が生れやすく、
かかあ天下の家庭は男の子が生れやすくなります。
どうでしょうか。調べてみてください。

これまでの易との違い

易の八卦を内向型と外向型に分けて、ペアにします。

易の八卦の「内向一外向」の傾きに注目して調べてみると、陰と陽が反対になっている八卦が内向型と外向型に分かれて、ペアになって互いに必要とし合っていることがわかりました。

天（父）と地（母）

全て陽から成る天は、外向型になります。外に向かって、強く前進しようとしします。全て陰から成る地は、内向型になります。そのまま受け入れて従おうとしします。

強く主張しようとする天は、すなおに受け入れることを忘れないようにさせてくれる地を必要としています。

雷（長男）と風（長女）

雷は外向型になります。外に向かって、恐れず思い切ってやろうとしします。陰陽を反対にすると、風になります。風は内向型です。周囲のようすをうかがいながら慎重に行動しようとしします。

積極的ですが勢いまかせてやりがちな雷は、細かく調べてていねいにやろうとする風を必要としています。

火（次女）と水（次男）

火は外向型になります。外見をきれいにし光り輝かせようとしします。陰陽を反対にすると、水になります。水は内向型になります。

きれい好きですが、外見にこだわってしまいやすい火は、内側に何か問題が隠されていないか追求し続ける水を必要としています。

沢（三女）と山（三男）

沢は外向型になります。おしゃべり好きで、感じたことをすぐにそのまま表現します。陰陽を反対にすると、山になります。山は内向型になります。よく考えてからやろうとしします。

どうしても直感、感情で行動しがちな沢は、じっくり考えて行動する山を必要としています。

易の六十四卦

易の八卦を上下に積み重ねると、六十四卦になります。

易の六十四卦では、上は外を、下は内を表しています。

占って一回目に出た数字を下、二回目に出た数字は上にくるようにします。

この上下の数字の組み合わせで、どの六十四卦が出たのかがわかります。

二回目にどの数字が出たかで、上の八卦、外の八卦がわかります。

一回目にどの数字が出たかで、下の八卦、内の八卦がわかります。

易の六十四卦の「内向一外向」に注目しました。

易の六十四卦を説明する方法は、これまで三種類ありました。
風と地として、自然現象から説明する方法があります。
また、長男を年輩の男性として、三女を年若い女性にして、
人間関係から説明することがあります。
そして、上下六つの陰と陽がどのようにかかわり合っているか、
陰と陽の配列から説明する方法があります。

しかし、これまでの易の説明では
どうしてもあいまいなところがあるのです。

易の六十四卦の「内向一外向」の傾きに注目しました。
すると、全ての易の六十四卦は内向型と外向型に分けて、
易の八卦と同じようにペアにすることができることがわかりました。

そして、どちらの六十四卦が内向型か、どちらが外向型か、
どのように向っているのかは、
上下の八卦を対話させることによって調べることができました。

自然現象から説明する方法との違い

上の八卦と下の八卦が違う場合、上下を反対にすると、内向一外向が反対になります。

たとえば、占って一回目に出た数字が8「地」、二回目に5「風」が出たとします。

上の八卦、外の八卦は、「風」になります。

下の八卦、内の八卦は、「地」になります。

占って出た六十四種類のメッセージは、「念を入れてよく見る必要があります。」になります。

この上下の八卦を自然現象から説明すると、「地の上に風があります。地上を風が吹きぬけているさまを象徴しています。」「この卦は見るからに寒々とした光景を思い浮かべますが、まさにそのとうりで、これを『不況の卦』と呼んでいます。」と易の本では説明されていました。

このメッセージは、内向型になります。上下の八卦を対話させると、上から下に向かいます。上下の八卦を対話させることで、どうして「不況の卦」かわかりました。

二回目5「風」「相手は何を願っているのか察してやっているの。」

一回目8「地」「何でそんなこと言うの。言われたこと何でもやっているわ。」

第三章、六十四種類のメッセージでは、止まれの状態としました。

それは、相手が何を願っているか探そうとせず、ただ言われたことを黙々とやっているような状態だからです。ただまじめにコツコツとやっているだけでは、お金は集まってきません。相手は今何を願っているか念を入れてよく見る必要があります。

次に、上の八卦と下の八卦を反対にします。

すると、六十四種類のメッセージは「言われなくても積極的にやります。」になります。

内向一外向は反対になり、このメッセージは外向型になります。

上下の八卦を自然現象として見ると、地の下に風があります。地下を風が吹きぬけていることになります。自然現象としては有り得ないことです。

上下の八卦を対話させて、何か起っているか調べてみることにします。外向型を対話させると、下から上に向きます。

二回目8「地」「相手の気持ちを察して、言われなくても積極的にやるわ。」

一回目5「風」「相手は何を願っているのかを察してやりましょう。」

第三章では、進めの状態としました。上下の八卦を入れ変えるだけで、状況が一変しています。相手が何を願っているのか察して、積極的にやろうとしています。相手から信頼されて協力が得られます。着実に願いがかなってきます。

内向型の「念を入れてよく見る必要があります。」と外向型の「言われなくても積極的にやります。」を凶の卦と吉の卦としてではなく、互いに相手を必要とするペアとしてとらえるようにします。

特に外向型が出た場合は、ペアになっている内向型と比較します。すると、今の逆の状態はどのような状態かわかり、何を忘れてはいけないのかわかります。順調に進んでいるようでも、念を入れてよく見ることを忘れないようにします。

では、どのようにして、進め、止まれが決定されるのでしょうか。上下の八卦を対話させて、

スムーズに交流し合っていれば、進めになります。しかし、もし、スムーズではなく、互いに言い争っているようだと、止まれになってしまうのです。

自然現象から説明する方法との違い

上下の八卦が同じ場合、陰と陽を反対にすると、内向一外向が反対になります。

占って一回目に出た数字が7「山」、二回目も7「山」が出たとします。

上の八卦、外の八卦は、「山」になります。

下の八卦、内の八卦は、「山」になります。

第三章、六十四種類のメッセージでは、

「止まって動かないようにします。」になります。

自然現象から説明すると、

「山が二つ重なっており、山のような不動の姿を象徴」

また、風林火山の山であり、「動かざること山のごとし」になります。

このメッセージは内向型です。

上下を対話させると、上から下に向かいます。

一回目7「山」「どんなに誘われても動かず、よく考えてからにします。」

二回目7「山」「今いるところ、今やっていることに止まって動かないようにするよ。」

これまで やってきたことに止まって動かない方がよいです。

そこから動くようにとどんなに誘われても、動いてはいけません。

第三章では、進めと止まれの中間状態としました。

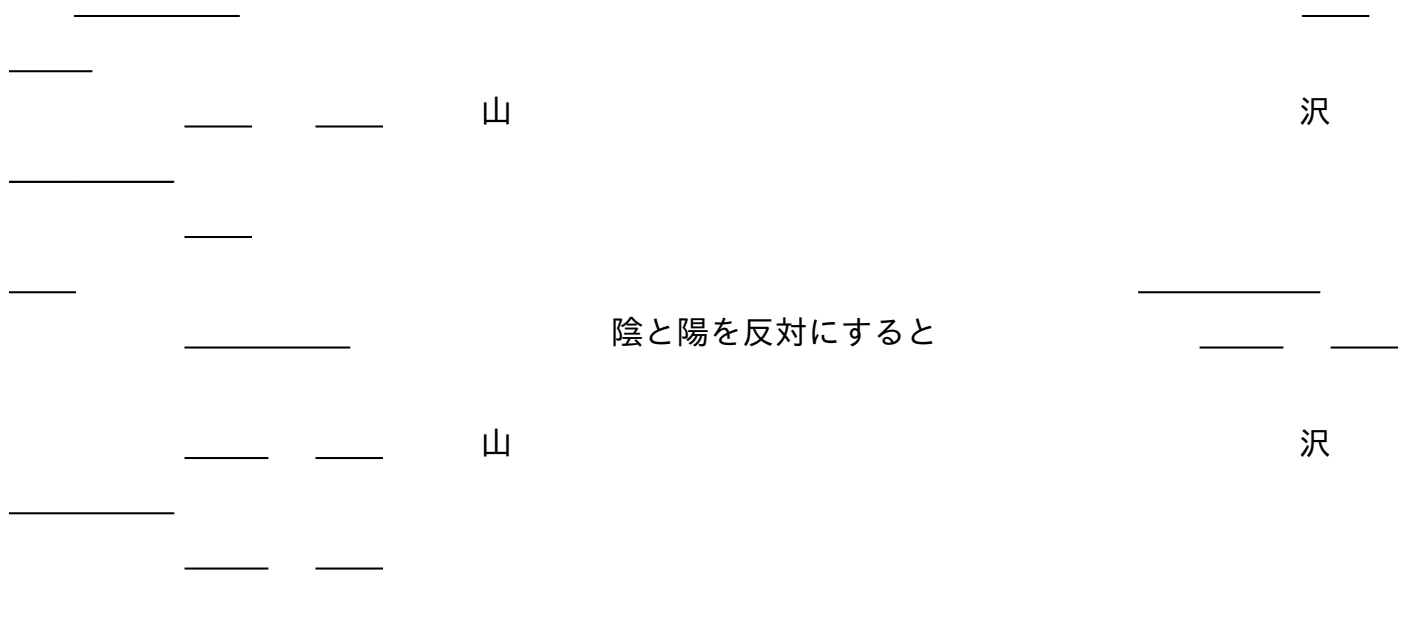
止まろうとしていることには進めになりますが、

動こうとしていることには止まれと易の本では説明されていました。

ではこの反対とは、どのような状態でしょうか。

上下の八卦ともに山ですから、上下反対にしても同じです。

このような場合、陰と陽を反対にします。



山が二つ重なっている姿は、
上記の左の六つのラインで表すことができます。

陰と陽を反対にすると、上記右の六つのラインになります。
沢が二つ重なっています。

しかし、自然現象としては、
沢が二つ重なる姿を説明することはできません。

第三章、六十四種類のメッセージでは、
「うきうきしています。」になります。

陰と陽を反対にさせると、
内向一外向の傾きは反対になり、外向型になります。
上下を対話させると、下から上に向かいます。

二回目2「沢」「私もそうよ。あなたといると、とてもうれしく感じる。」
一回目2「沢」「あなたと話していると、なんだか楽しくなってくるわ。」

思っていることを何でも相手に話したくてたまりません。
しかし、気分がうきうきして落ち着かないようすです。

第三章では、進めと止まれの中間状態としました。

外向型は、ペアになっている内向型とどのように違っているか比較します。
すると、今の逆はどのような状態かわかります。
今願っていることを実現させるには、
止まってじっくり考えることを忘れないようにします。

人間関係で説明する方法との違い

上下の八卦を人間関係で説明する方法との違い

占って一回目に出た数字が4「雷」、二回目に2「沢」が出たとします。

上の八卦、外の八卦は、「沢」、「三女」になります。

下の八卦、内の八卦は、「雷」、「長男」になります。

六十四種類のメッセージは、「よく聞き従ってやってください。」です。

このメッセージは内向型になります。

長男は年輩の男性に、三女は年若い女性にたとえられます。年輩の男性が年若い女性の下に位置しています。

「成年の男子が乙女に随喜する象」あるいは「計らずも低い者に随うハメニ」と易の本では説明されていました。

上下の八卦を対話させると、年若くてもこの女性は年輩の男性のために適切なアドバイスを与えているように見えます。

内向型を対話させると、上から下に向かいます。

二回目2「沢」「やれると思えるようになるまで、よく考えてからやって。」

一回目4「雷」「早く思い切ってやってしまいたいけど、そうするよ。」

第三章では、進めとしました。それは、たとえどんな相手であっても正しければ聞き従ってよく考えてやろうとしているので、進めになるという意味です。

では、上下の八卦を反対すると、どうなるでしょうか。

上の八卦、外の八卦は、「雷」、「長男」になります。

下の八卦、内の八卦は、「沢」、「三女」になります。

六十四種類のメッセージは、「勢いにまかせてやって後悔しやすい。」です。

このメッセージは外向型になります。

上下の二人の関係は「年若い女性が、相当年輩の（妻子もある）男性の勢いさかんな様子を見て、積極的に愛を求め悦びを求めて動き、溺れてゆく」「おめかけさんの卦」と易の本では説明されていました。

ところが、上下の八卦を対話させるとそうではないことがわかったのです。外向型を対話させると、下から上に向かいます。

二回目4「雷」「このままでいいよ。早く思い切ってやってしまいたい。」

1回目2「沢」「本当にやってもよいかよく考えてからやってほしいわ。」

「三女」、年少の女は、勢いにまかせて無理なことをしようとしている「長男」、年輩の男性を何とか思い止まるよう説得している賢い女性のように見えてくるのです。

第三章では、止まれとしました。それは、まだやるには早過ぎることを勢いにまかせてやって後悔しやすい状態なので、止まれになるのです。

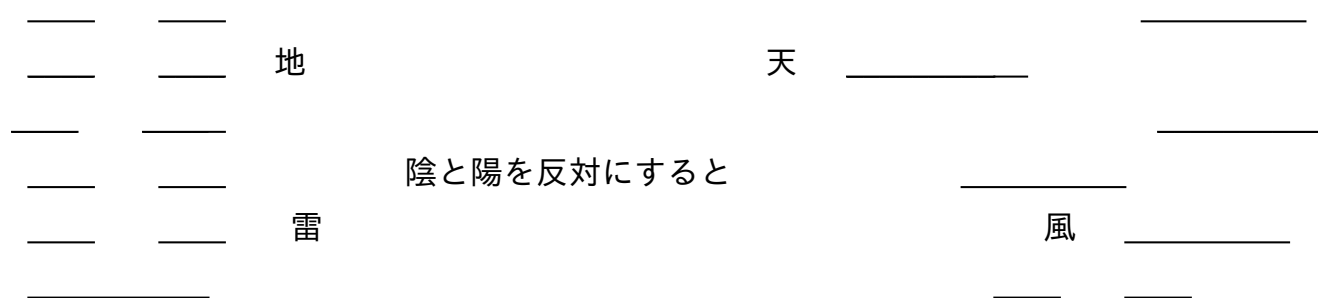
外向型のメッセージが出たら、ペアになっている内向型とどのように違っているか比較します。すると、今の逆はどのような状態かがわかり、今の状態を良くするためには何を忘れてはいけな

いのがわかります。

まだ不十分であることを自覚して、どんな相手であっても正しければ聞き従ってよく考えてすることを忘れてはいけません。

陰陽の配列から説明する方法との違い

上下六つの陰陽の配列から説明する方法との違い



陰陽について、本田濟氏著「易学」に
「陰陽はもと、ひかげとひなた、寒暑の気というようなものだった」と説明されていました。

上下六つの陰と陽で四季の変化を表すことができます。

上下六つが陰なら、冬になります。

逆に上下六つとも陽であれば、夏になります。

左側の六十四卦は一番下だけが陽になっています。

易の卦は下から上に見ます。下から始まって、上に至ります。

これは春が近づいてきたことを示しています。

「一陽来復の卦」とされます。

しかし、四季の変化だけで、どのような状態なのか詳しく説明できません。

六十四種類のメッセージは、「よくなるきざしが見えてきました。」です。

このメッセージは内向型です。

上下の八卦を対話させると、上から下に向かいます。

二回目8「地」「これからが大切だわ。よく考えてやって。」

一回目4「雷」「これからは思い切ってやりたいんだ。」

第三章では、進めと止まれの中間状態としました。

それは、まだ芽が出てきた程度だからです。これからが大切です。

安心して過ぎて軽率な行動をすると、

なかなか芽が出なかった時に戻ってしまいます。

陰と陽を反対にすると、右側の六十四卦になります。

一番下だけが陰です。下から始まり、上に向けて見てください。

夏のさかりが過ぎて秋が近づいてきました。

しかし、この上下六つの陰陽は寒暑の気ではなく、

女性と男性のかかわり合いで説明されていました。

「男ばかりの所に女が現れて、」「五人の男を誘惑し墮落させるような女」と見るのです。

ところが、対話させてみると、この女性は男性たちによる無理な行動を何とかしようと説得している思慮深い女性のように見えてくるのです。

六十四種類のメッセージは、

「どんなことに会おうかわからない。」になります。

このメッセージは外向型になります。

外向型の上下の八卦を対話させると、下から上に向かうようになります。

二回目1「天」「そんなことできない。突き進んで一気にやりたい。」

一回目5「風」「どんなことがあるかわからないわ。

細かく調べてからにしてほしい。」

第三章では、止まれの状態としました。

それは何か良くないことに会いやすいからです。

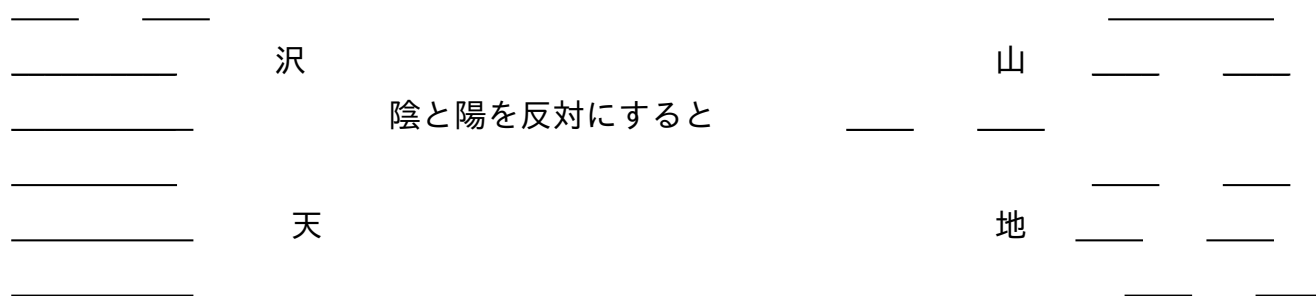
何か良くないことに会おう予感がしているのに、

それを無視して突き進むようなことをしやすいのです。

納得がいくまで、ていねいに調べる必要があります。

陰陽の配列から説明する方法との違い

男尊女卑の易の説明から男女平等の易の説明に変えます。



これまで、陰は「小人」陽は「君子」とされてきました。

すなわち、陰を陽より劣ったものとする男尊女卑の傾向が強かったのです。

しかし、対話させてみると、

陰も陽と同様に重要な役割を果たしていることがわかりました。

左側の六十四卦を見てください。

一番上だけが陰になっています。

この陰陽の関係は小人と君子のかかわりで説明されていました。

「君子（＝陽）の勢いが盛んで、

僅かに残る小人（＝陰）をきろうとするとき、」

ところが、対話させると、一番上に残った陰は、

勢いにまかせて陽たちが無理なことをやらないよう訴えているようです。

むしろ、陰の方が君子で、陽たちは小人のように見えてくるのです。

六十四種類のメッセージでは、「決め付けしないでください。」になります。

このメッセージは外向型になります。

上下の八卦を対話させると、下から上に向かいます。

二回目2「澤」「決め付けてはいけないわ。よく考えてからにして。」

一回目1「天」「こうするしかありません。すぐにやりましょう。」

第三章では、止まれとしました。

こうするしかない決め付けて、無理なことをやってしまいやすいので、

止まれになります。

もっと柔軟な発想を持って他の可能性も考えてください。

やらなければならない気持ちだけでやってはいけません。

陰と陽を反対にさせると、右側の六十四卦になります。

一番上だけが陽になっています。

この陰陽の関係も小人と君子のかかわりで説明されています。

「小人の勢いが盛んとなり君子を剥害する」とされていました。

対話させて調べてみると、確かに一番上の陽は君子のようです。

すなおに何でも信じてしまう陰たち、小人を戒めているように見えます。

六十四種類のメッセージでは「このままでは奪い取られます。」になります。

このメッセージも外向型です。

このように上の八卦と下の八卦が違う場合は、陰陽を反対にしても、

内向一外向が反対にならないことがあります。

外向型の上下の八卦を対話させると、下から上に向かいます。

二回目7 「山」「とんでもない。そんなことをしたら、奪い取られるよ。」

一回目8 「地」「十分に納得できなくても、すなおに受け入れるように。」

すなおに相手を信じ過ぎて、だまされる恐れがあるので、

第三章では、止まれとしました。

じっくり相手を見て、本当に信頼できるのか、よく調べる必要があります。

計32の内向型と外向型のペアに分けます。

六十四種類のメッセージを計32の内向型と外向型のペアに分けます。

一回目に占って出た数字を左一二回目に占って出た数字を右に入れました。

上下の八卦が同じ組み合わせは、陰陽を反対にすると、

内向型と外向型に分かれて、ペアになります。

内向型 8-8 「忍耐強くやる必要があります」

外向型 1-1 「熱心にやっています」

内向型 5-5 「ていねいにやってください」

外向型 4-4 「まずはやってみてください」

内向型 6-6 「強く決意しないと抜け出せません」

外向型 3-3 「どうしても執着しやすいです」

内向型 7-7 「止まって動かないようにします」

外向型 2-2 「うきうきしています」

上下の八卦が違う組み合わせは、上下を反対にすると、

内向型と外向型に分かれて、ペアになります。

1「天」と「地」の組み合わせ

内向型 8-1 「積極的にやらず慎重にやります」

外向型 1-8 「やれそうだが安心はできません」

8「地」あるいは1「天」と

5「風」4「雷」6「水」3「火」7「山」2「沢」の組み合わせ

内向型 8-5 「念を入れてよく見る必要があります」

外向型 5-8 「言われなくても積極的にやります」

内向型 1-5 「じれったくてもていねいにやる」

外向型 5-1 「どんなことに出会うかわかりません」

内向型 4-8 「よくなるきざしが見えてきた」

外向型 8-4 「つい気持ちがゆるみがちです」

内向型 4-1 「どこに向かって進むかわからない」

外向型 1-4 「的外れなことをしやすいです」

内向型 6-8 「注意してやらないと争います」

外向型 8-6 「注意して親しんでください」

内向型 1-6 「あせらず待つようにします。」

外向型 6-1 「強引にやっては争います。」

内向型 3-8 「すなおに受け入れて傷付かない」

外向型 8-3 「希望を持って進めます」

内向型 1-3 「あまり理想を求めてはいけません」
外向型 3-1 「相手と気持ちを合わせてやります」
内向型 7-8 「へりくだってやってください」
外向型 8-7 「このままでは奪い取られます」
内向型 1-7 「じっくりとやってください」
外向型 7-1 「無理に進まず退くようにします」
内向型 8-2 「黙っていないでうまく表現します」
外向型 2-8 「調子に乗ってやろうとします」
内向型 2-1 「強いてやろうとしています」
外向型 1-2 「決め付けしないでください」

3人姉妹、5「風」3「火」2「沢」の中での組み合わせ

内向型 3-5 「思いやりつくしてください」
外向型 5-3 「周囲から支えられます」
内向型 2-5 「夢を抱いて実現させようとしています」
外向型 5-2 「激しくやり過ぎています」
内向型 2-3 「誤解が生じて反発しやすいです」
外向型 3-2 「改めなければいけません」

3人兄弟、4「雷」6「水」7「山」の中での組み合わせ

内向型 4-6 「注意しないと苦しみます」
外向型 6-4 「無理していないか考えてやります」
内向型 4-7 「どうするかよく考えてやります」
外向型 7-4 「少し慎重過ぎるくらいがよいです」
内向型 7-6 「あえて進んでぶつからないようにする」
外向型 6-7 「あいまいにして逃げてはいけない」

3人姉妹、5「風」3「火」2「沢」と

3人兄弟、4「雷」6「水」7「山」の組み合わせ

内向型 5-4 「変えずにやり続けます」
外向型 4-5 「思い切ってやってみよう」
内向型 5-6 「どう思われようとねばり強くやる」
外向型 6-5 「あっさりを受け入れるようにする」
内向型 7-5 「だんだんに進んでいきます」
外向型 5-7 「気持ちを落ち着かせるようにしてください」
内向型 4-3 「かみくだいてやる必要があります」
外向型 3-4 「このままでもよいと錯覚しやすい」

内向型 6-3 「難しくてもやがて良くなります」

外向型 3-6 「既にどうすればよいかわかってます」

内向型 7-3 「踏み止まって行かないようにします」

内向型 3-7 「みかけだけで判断してしまう」

内向型 4-2 「よく聞き従ってやればよいです」

外向型 2-4 「勢いにまかせてやって後悔しやすい」

内向型 2-6 「ほどあいを考えてやります」

外向型 6-2 「注意しないと困ることになります」

内向型 2-7 「損をして得を取ってください」

外向型 7-2 「調子に乗って軽率なことをしやすいです」

3 2の内向型と外向型のペアに分けた理由

内向型と外向型に分けると、意味が明らかになりました。

上下の八卦を反対にし、上下の八卦が同じ場合は陰と陽を反対にしました。全ての六十四種類のメッセージを計32のペアにして、内向型と外向型に分けて比較してみました。

内向型は慎重なタイプ、

外向型は積極的なタイプと思われるかもしれません。

しかし、そのような型にはめて、それにとらわれてしまうと、正確な判断ができなくなります。

内向型と外向型に分けたのは、型にはめるためではありません。それはどのような六十四種類のメッセージなのか、意味をはっきりさせるためです。

どのように上下の八卦が影響し合って、内向—外向のどちらに、またどのように向っているか追跡しました。

この影響のし合いは、対話させて調べることができました。

外向型が出れば、積極的にやればよいのかと思いきや、確かに、積極的にやってよい六十四卦がありました。

しかし、1—4「的外れなことをしやすいです」のように逆に慎重にやらないといけない外向型六十四卦の方が多くありました。

また、内向型が出れば、慎重にと思いがちです。

上下対話させて調べてみると、慎重にやらないといけない内向型がほとんどでした。

しかし、慎重になってはいるけれども、逆に積極的にやっていくのがよい、8—2「黙っていないでうまく表現します」のような内向型のメッセージがありました。

占って出したメッセージと逆のメッセージを出して比較してみます。

占って出した六十四種類のメッセージだけではなく、ペアになっている六十四種類のメッセージを見つけ出して、どのように違っているのか比較してみませんか。

より良くするためにはどのようなことに気をつければよいのかわかります。外向型が出た場合、ペアになっている内向型と比較してみると、より良くするために何を忘れてはいけないのかがはっきりします。

六十四種類のメッセージは内向型と外向型に分かれますが、内向型は外向型を支えようとしているのを見つけ出しました。

内向型と外向型はペアになって、和合して、一つになろうとしていたのです。
それがわかってから、これまでの易とは説明が違ってきました。

三回目に占って出た数字の意味

三回目に1から6までのどの数字が出たかで、
六十四種類のメッセージの状態が変化することがあります。

易の六十四卦は、陽あるいは陰を表す、
上下六つのラインから成っています。占って、
一回目が1「天」、二回目も1「天」であれば、
以下の六つの陽ラインから成っています。

六十四種類のメッセージは、「熱心にやっています。」です。

三回目に1から6までのどの数字が出たのかで、
六つのラインにかかっている、
状態の変化を表すメッセージを受け取ります。

_____	6、特に無理をしてやり過ぎてしまいます。
天 _____	5、実力発揮できそうです。
_____	4、あせらず慎重にやります。
_____	3、無理をしなければ良くなってきます。
天 _____	2、徐々に実力発揮できそうです。
_____	1、無理しやすいです。

「熱心にやっています。」は全体として、進めと止まれの中間状態です。
しかし、三回目に1か6が出れば、止まれの状態に変化します。
2か5が出れば、進めの状態に変化します。
しかし、他の六十四卦では、この1から6までの意味は違って来るのです。

たとえば、ここでは1と6で状態は悪くなっていますが、
他の六十四卦では1と6で状態が良くなることがあります。
また、2で状態は良くなっていますが、
他の六十四卦では悪くなることがあります。
しかし、5は比較的安定していて、
他の六十四卦でも5で状態が悪くなることはありません。

進めの六十四卦であっても、
三回目に1から6までのどの数字が出たかで、
進めと止まれの中間状態に変化することがあります。

また、進めと止まれの中間状態の六十四卦であっても、
三回目に1から6までのどの数字が出たかで、
進めの状態に変化することがあります。

止まれの状態の六十四卦が出れば、
三回目に1から6までのどの数字が出たかで

進めと止まれの間状態に変化することはあっても、
進めの状態に変化することはありません。

強い止まれの状態の六十四卦であれば、
三回目に1から6までのどの数字が出ても、
止まれのままで変化しません。

三回目に出た1から6までの数字でどのように変化するかで、
占って出た六十四卦の進めと止まれの程度がわかるのです。

では、三回目に7か8が出れば、どのように変化するでしょうか。
7か8で六十四卦の状態は、進めであれば進め、止まれであれば止まれ、
進めと止まれの間状態であれば中間状態で、変化せずに続きます。

第五章 ダビデの星と九星のパワーの秘密

ダビデの星は内向型と外向型の出会いの場になっていました。

ダビデの星はユダヤ教、ユダヤ民族だけでなく、古来から世界各地で日本でも、不思議な力を持つ図形として使われてきました。このダビデの星をニューヨークで初めて見たとき、本当に不思議な力を感じました。

ダビデの星は上向きの正三角形に下向きの正三角形を重ねた図形です。この図形をヘキサグラム (hexagram) といいます。

英語の易の本を読むと、易の八卦を上下に重ねた六十四卦を英語で表すのにこのヘキサグラムが使われていました。

易学では、上向きとは外向き、下向きとは内向きを意味します。上向きの正三角形は外向型を表しています。下向きの正三角形は内向型を表しています。

では、どうして易の六十四卦をヘキサグラムというのでしょうか。それは、下の八卦は上に向かって進み、上の八卦は下に向かって進むので、上下の八卦が出会う場はヘキサグラムになるからです。そこで上下の八卦は密接につながり影響し合うようになります。

易の六十四卦は最初はヘキサグラムになります。しかし、上下が密接につながり影響し合うことによって、やがて上向きか下向きか、外向型か内向型かのどちらかに必ず傾くようになることがわかりました。

内向型と外向型が和合して、一つになろうするとき、ダビデの星の不思議な力が出てきます。

内向型と外向型は180度反対の方向に向かっています。この全く違うタイプをそのまま合わせようとすれば、反発し合うだけです。合わせる前に和合が成されなければいけません。

ダビデの星は内向型と外向型に分かれようとしています。しかし、もし、この180度全く違った内向型と外向型が和合して、一つになることができれば、すばらしいパワーが発揮されるようになることがわかりました。

易の八卦と六十四卦を内向型と外向型に分けてこれまで調べてきました。そこで、内向型は外向型を支えようとしていることを見つけ出しました。

内向型と外向型はペアになっていて互いに必要とし合っていました。

内向型と外向型に分かれますが、和合して一つになろうとしていたのです。

この易の秘密がわかって、これまでとは違う易の説明ができるようになりました。

易の八卦と四次元の世界

易の八卦を四次元の世界まで入って調べました。

これまでは易の八卦だけでは単純すぎて、
この複雑な人の世界の出来事を占うことはできないので、
易の八卦を重ねて六十四卦にしたとされてきました。

本当にそうでしょうか？

易の八卦を、一次元の世界、二次元の世界、三次元の世界、
さらに「過去から未来に限りなく続いている」時間を加えた
四次元の世界まで入って調べました。

まず、一次元の世界から調べ始めました。

易は、陽_____ と陰_____ でこの世界の相対関係を表します。

前を陽とすると、後ろは陰になります。

右を陽とすると、左は陰になります。

上を陽とすると、下は陰になります。

しかし、陽と陰の二方向では、線の運動、直線の世界、
一次元の世界だけに限定されます。

次に、二次元の世界に入りました。

次に、陽と陰を重ねます。すると、老陽、少陰、少陽、老陰になり、東、西、南、北の四方向を表すことができます。四方向あれば、面の運動、平面の世界、二次元の世界に広がって行動できるようになります。



老陽

少陰

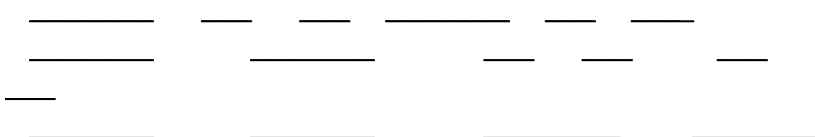
少陽

老

陰

そして、私達が住む三次元の世界に入ります。

さらに、陽と陰を重ねると、易の八卦になり、八方向を表すようになります。
八方向あれば、前後、左右、上下の三次元の立体世界だけでなく、
さらに過去未来の時間を加えて、
四次元の世界まで広がって行動できるようになります。



1「天」

父

2「沢」

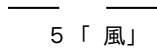
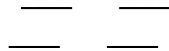
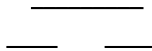
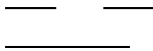
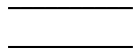
三女

3「火」

4「雷」

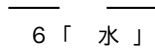
次女

長男



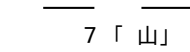
5「風」

長女



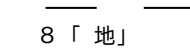
6「水」

次男



7「山」

三男



8「地」

母

先天八卦の世界から後天八卦の世界へ

静的な、まだ完成されていない八卦を先天八卦といいます。

これまで易の八卦をとらえるために、

1から8までの数字を使ってきました。

それは、陽と陰を順番に重ねると

この八つの順番で易の八卦が形成されるからです。

易の八卦は八方位に配当されて、平面の世界に限定されてきました。

しかし、この八卦はまだ完成された八卦ではありません。

この完成する前の静的な八卦を先天八卦といいます。

九星が保持していた易の八卦は、完成した八卦、後天八卦です。

「予知能力を最大限に発揮させる占い」のプロローグで

九星の秘密について既に説明しました。

九星は八方位の平面上に配当された易の八卦を保持して、

周期的に動き回っていました。

九星の中で易の八卦はどのように変化しているのか、

正三角形の九星図にして調べて、

易の八卦が表す立体世界とは心の世界であることがわかりました。

この九星の中の生きた八卦を後天八卦といいます。

後天八卦とは、生きた構想または完成した設計図です。

後天八卦の変化をとられるためには、

1から9までの数字が必要で九星になりました。

正三角形の九星図は願望実現のモデルコースを表していました。

地（母） — 二黒土星 C

雷（長男） — 三碧木星 B D 一白水星 — 水（次男）

風（長女） — 四緑木星 A E 九紫火星 — 火（次女）

 五黄土星 I H G F 八白土星 — 山（三男）

 六白金星 七赤金星

 天（父） 沢（三女）

正三角形の九星図でどのように九星が変化しているか調べて、

九星の中の後天八卦と五気は、願望、思考、実行の順番で

どのようにすれば願望を実現させることができるかを

表しているのがわかりました。

プロローグで、九星の八大家族を会話させました。

どのようにすれば願望が実現されるのかを話し合っていました。

まず、A、風（長女）B、雷（長男）C、地（母）の順番でつながって、何かをしたいという願望を大切に育てます。

次に、D、水（次男）E、火（次女）F、山（三男）の順番でつながり、今やろうとしている願望は、本当に実現可能なのかよく考えさせようとしています。

そして、最後にG、沢（三女）H、天（父）の順番でつながり、これならやれると思えてくれば、臨機応変に行動させようとしています。

正三角形の九星図の中での後天八卦と五気の順番は、願望を実現させるための「モデルコース」を表していたのです。

さらに九星には、気エネルギー、五気が沈み込んでいました。

これまで五気は四季にたとえられ、木は春を、火は夏を、金は秋、水を冬を表すとされました。土は、四季の終わりの18日間の土用として、四季の展開の促進、転換作用をなします。

真夏に食べる土用のうなぎには、夏から秋への促進、転換作用の意味があるのです。

ところが、九星の土の役割は四季の展開の促進、転換作用ではなく、心の中の働きの促進、転換作用をなしていることがわかりました。

Cは願望から思考へのスムーズな展開の促進を、
Fは思考から行動への力強い展開の促進を、
Iは気持ちを切り替えて

新たな出発への自発的な展開の促進、転換作用をなしていました。

驚いたことに、九星の土には心の中の知情意の機能が注入されていました。

予知能力を最大限に発揮させる占い

しかし、人は迷いやすいのです。

正三角形の九星図は

願望、思考、行動の三つの段階を通過する

「願望実現のモデルコース」を表していました。

しかし、ともすればDEFの思考段階のFに入って確信する手前で

「本当にやってやっていいのか。」と迷いやすいのです。

やる方向に傾く場合があると思えば、やらない方向に傾いたりして、どの方向に進めばよいのかわからなくなることがあります。

迷った状態を迷子にたとえることができます。

どの方向に進めばよいのかわからなくなり、迷子になれば、

まず、何をしなければいけないでしょうか。

今どこにいるのか、現在の位置を探し出さないといけません。

この現在の位置を、一回目と二回目に出た数字の組合わせで

六十四種類のメッセージを出して、探し出すことができます。

次に、三回目に出た数字で今の時を確認します。

そして、四回目に出た数字で方向を確認して、

どのような方向に進めば目的地に到着できるかわかるようになります。

これまでの易占いの方法では限界がありました。

願望実現の「モデルコース」から外れて脱線するところまでひっぱられているとき、これまでの易占いの方法では限界があることがわかりました。

そこで、32枚のカードを使用する

「予知能力を最大限に発揮させる占い」にすると、その限界をこえることができるようになります。

脱線するところまでひっぱられようとするとき、スペードの1のカードを出させて、気持ちを切り替えて止まるように働きかけます。

「予知能力を最大限に発揮させる占い」では占って出た数字だけでなく、占って出たスーツが重要な意味を持っています。

ハートとダイヤが出れば、

願望実現の「モデルコース」に従って気が流れようとしています。

しかし、スペードが出れば、

願望実現の「モデルコース」から気が離れようとしています。

さらに、スペードの1が出れば、
願望実現の「モデルコース」から離れて
脱線するところまでひっぱられようとしています。

迷子にたとえて説明すると、現在の位置がわかって時と方向を確認して、
元気ならば、目的地に向けて出発できます。

この元気を表しているのが、ハートとダイヤです。

しかし、疲れていれば、休んでから行かないといけません。

この疲れを表す形がスペードなのです。

さらに、病気になれば、目的地に向かうのではなくて、
家に戻るか、病院に行かないといけません。

この病気を表すカードが、スペードの1になるのです。

最後まで読んでくださり、ありがとうございます

「予知能力を最大限に発揮させる占い」はよく当たります。

しかし、使い過ぎてはいけません。

計32枚のカードで簡単に占えるので、どうしても使い過ぎるのです。

占って、その結果が信じられなくて、

同じことを二回、三回と繰り返して占うようなことはしないでください。

占ってよく信じてこそ、あなたの人生を切り開く「切り札」となります。

「予知能力を最大限に発揮させる占い」の占い方法はブログで
紹介しています。

下記をクリックしてください。

<http://yochi479.blog137.fc2.com/blog-category-5.html>

しかし、第三章、六十四種類のメッセージはありません。

下記で、購入して下さりますようお願いいたします。

<http://p.booklog.jp/book/34962>